

全日本リレーオリエンテーリング大会 愛知県チーム ランキング 規程

1. 本規程は「全日本リレーオリエンテーリング大会 愛知県チーム 選手選考規程」に基づき、愛知県チームの選手選考・チーム編成に用いるランキング制度を定めるものである。
2. 選考日から遡って5年以内(選考日を含み、選考日のちょうど5年前は含まない)に日本国内で日中に開催され、LapCenter から lapcombat2 形式のファイル入手可能なフットOかつポイントO形式の全てのイベントをランキングの計算に用いる。
3. これらのイベントに出場し完走した全ての選手(愛知県選手に限らない)の競技成績をランキングの計算に用いる。
4. ランキングの計算にはコース別の所要時間を用いるものとし、同一コースの判定は lapcombat2 ファイルに記録されたコース番号により行う。但しコース番号が lapcombat2 ファイルに入力されていない場合はクラス別の所要時間で代用する。
5. lapcombat2 ファイルにおける姓・名の完全一致をもって同一選手と見なす。但し lapcombat2 ファイルにおける姓・名の誤記について選手から申立があった場合は監督または代理の技術者がこれを確認の上で修正する。代理の技術者とは本規程に基づきランキング計算のコンピュータプログラムを取り扱う実務担当者を指す。
6. 各イベント i 、各コース j における各選手 k の所要時間をもとにポイント $p_{i,j}^k$ を以下の手順で計算する。
 - (a) はじめに各イベントの最上位コースのみの競技成績を用いて、それらのコースの完走者のポイントの初期値を

$$p_{i,j}^k = 100 \frac{T_{i,j}^{top10}}{T_{i,j}^k} \quad (1)$$

により計算する。但し最上位コースの完走人数が30名以上のイベントについてのみこの計算を行うものとする。また後述する「カテゴリー」がCのイベントについてはこの計算を行わない。ここで $T_{i,j}^k$ はイベント i 、コース j における選手 k の所要時間、 $T_{i,j}^{top10}$ はイベント i 、コース j の完走者の上位10%(端数切り捨て)の平均所要時間、 $p_{i,j}^k$ はイベント i 、コース j において選手 k に入るポイント。

- (b) 各選手 k についてポイント $p_{i,j}^k$ の重み付き平均を

$$p_{ave}^k = \frac{\sum_{i,j} w_{i,j} p_{i,j}^k}{\sum_{i,j} w_{i,j}} \quad (2)$$

により計算する。 p_{ave}^k は選考日と同じ月日を区切りとする1年単位で計5つの値を別々に算出する(選考日と同じ月日のイベントは古い方の期間に含める)。ここで $w_{i,j}$ はイベント i 、

コース j の重み係数。

次にこの p_{ave}^k を用いて、各イベント i 、コース j について

$$p_{i,j}^k = p_{i,j}^{top50} \frac{T_{i,j}^{top50}}{T_{i,j}^k} \quad (3)$$

により各選手のポイント $p_{i,j}^k$ を修正する。但しそのコースの完走者の上位 50%(端数切り捨て) に入りかつポイント p_{ave}^k を有する選手(基準選手)が 3 名以上いるイベント、コースについてのみこの計算を行うものとする。 $T_{i,j}^{top50}$ はイベント i 、コース j における基準選手の平均所要時間、 $p_{i,j}^{top50}$ はイベント i が含まれる期間におけるそれらの選手の p_{ave}^k の平均値である。

(2)(3) 式の計算を計 5 回反復する。

(c) 前項の最後の反復の後、基準選手が 1 名または 2 名のイベント、コースについても (3) 式により $p_{i,j}^k$ を計算する。

7. 前節までで求めた各イベント i 、コース j での各選手 k のポイント $p_{i,j}^k$ をもとに、選手 k の最終ランキングポイント p_{final}^k を以下のように場合分けして計算する。

(a) ポイント計算済みイベントが計 7 つ以上ある選手については

$$p_{final}^k = \frac{1}{W_4} \sum_{i,j(best4)} [w_{i,j} p_{i,j}^k] \quad (4)$$

により最終ランキングポイントを求める。ここで $\sum_{i,j(best4)}$ は [] 内の値の大きいものから順に上位 4 つの合計を表す。 W_4 はこれら 4 つのイベントの $w_{i,j}$ の合計、 $w_{i,j}$ は $w_{i,j}$ と 1.0 のうちの大きい方の値とする。

(b) ポイント計算済みイベントが 4~6 個の選手については

$$p_{final}^k = \frac{1}{W_3} \sum_{i,j(best3)} [w_{i,j} p_{i,j}^k] \quad (5)$$

により最終ランキングポイントを求める。ここで $\sum_{i,j(best3)}$ は [] 内の値の大きいものから順に上位 3 つの合計を表す。 W_3 はこれら 3 つのイベントの $w_{i,j}$ の合計と 3.1 のうちの大きい方の値とする。

(c) ポイント計算済みイベントが 2~3 個の選手については

$$p_{final}^k = \frac{1}{W_2} \sum_{i,j(best2)} [w_{i,j} p_{i,j}^k] \quad (6)$$

により最終ランキングポイントを求める。ここで $\sum_{i,j(best2)}$ は [] 内の値の大きいものから順に上位 2 つの合計を表す。 W_2 はこれら 2 つのイベントの $w_{i,j}$ の合計と 2.2 のうちの大きい方の値とする。

(d) ポイント計算済みイベントが 1 個の選手については

$$p_{final}^k = \frac{1}{W_1} [w_{i,j} p_{i,j}^k] \quad (7)$$

により最終ランキングポイントを求める。 W_w は $w_{i,j}$ と 1.3 のうちの大きい方の値とする。

(e) ポイント計算済みイベントが 0 個の選手については $p_{final}^k = 0$ とする。

8. 最終ランキングポイントの降順に並べたものをランキングとする。同点の場合は年齢の若い選手を上位とし、年齢も等しい場合は競技者登録番号の下3桁の小さい順とする。
9. 前節までの各計算式において、重み係数 $w_{i,j}$ は以下の全ての因子の積により与える。
 - (a) イベントの重要度に応じた重み係数。イベントを以下の3種類にカテゴリー分けし、カテゴリー A を 1.1、カテゴリー B を 1.0、カテゴリー C を 0.9 とする。
カテゴリー A：全日本(スプリント・ロング・ミドル・リレー種目)、インカレ(同上)、インターハイ(個人戦・団体戦)、愛知県選手権。
カテゴリー B：上記以外の大会。
カテゴリー C：会内杯、対抗戦、練習会、合宿、大会の追加練習メニュー(lapcombat2 ファイルが別になっている場合)、普及イベント。
 - (b) イベントの規模に応じた重み係数。完走者数 500 名以上のイベントを 1.1、200~499 名のイベントを 1.05、100~199 名のイベントを 1.0、50~99 名のイベントを 0.95、49 名以下のイベントを 0.9 とする。
 - (c) イベント開催時期に応じた重み係数。選考日から遡って 6ヶ月以内のイベントを 1.0、6ヶ月を超え 1年以内のイベントを 0.95、1年を超え 2年以内のイベントを 0.9、2年を超え 3年以内のイベントを 0.8、3年を超え 4年以内のイベントを 0.7、4年を超え 5年以内のイベントを 0.6 とする。
 - (d) コースの基準選手数に応じた重み係数。基準選手 10 名以上なら 1.0、6~9 名なら 0.95、3~5 名なら 0.9、1~2 名なら 0.8 とする。(2) 式の 1 回目の計算では 1.0 とする。
10. 一つのイベントの記録が複数の lapcombat2 ファイルに分割されている場合の扱いは以下の通りとする。
 - (a) クラス別に分割されている場合はファイルを統合して一つのイベントとして扱う。
 - (b) 一つのイベントの中で複数のレースが行われ、それらのレース単位でファイルが分割されている場合には、ファイルの統合は行わずに別々のイベントとして処理する。
11. 失格・欠席についてはペナルティを課すのではなく、大会にエントリーしなかった場合と同様に記録自体が存在しないものとして処理する。
12. 競技不成立については該当するクラスをランキング計算の対象外とする。但し競技不成立の情報は lapcombat2 ファイルのみから取得するものとし、他の情報源(大会公式ホームページ等)を辿ることはしない。
13. 競技時間超過については lapcombat2 ファイルにおいて記録が DISQ になっている場合は失格扱いとし、記録に所要時間が記載されている場合は正規の記録と同様に扱う。
14. 参考記録および 2 度目以降の出走については所要時間を 1.2 倍したものをを用いる。但し予選決勝方式のイベントにおいては 2 度目以降の出走も正規記録として扱う。
2 度目以降の出走は lapcombat2 ファイルにおけるスタート時刻により判定する。但し lapcombat2 ファイルにスタート時刻が入力されていない場合は全ての記録をひとまず正規記録として処理した上で、最終ランキングポイントの計算(4-7 式)において $w_{i,j}$ および $w_{i,j}p_{i,j}^k$ をそれらの全記録

による平均値で代用する。一つの lapcombat2 ファイル内でスタート時刻の入力されている記録と入力されていない記録が混在する場合には、スタート時刻が入力されていない記録を後の出走であると見なす。

15. 本規程は 2016 年度の選手選考より用いる。
16. 本規程の改訂は全日本リレーオリエンテーリング大会終了後、翌年の参加希望登録受付開始前までの期間に、前年度および次年度の団長・監督の議により行う。

2016 年 5 月 31 日 全日本リレー愛知県選手団 監督 前田裕太 制定